



GEIBUN

013

富山大学 芸術文化学部紀要 第13巻
平成31年2月

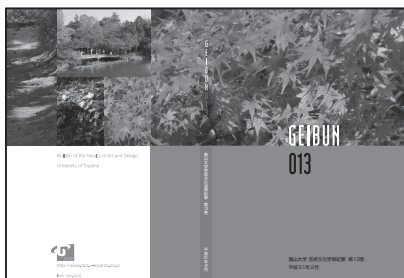
表紙・裏表紙

加賀藩二代目藩主である前田利長によって築城された高岡城は、1615年の一国一城令によって、わずか6年ほどで廃城となった。三代目の利常は、利長のために瑞龍寺を建立するなど畏敬の念を持ち、高岡城も利長の遺志を継ぐべく濠を埋めずに基本構造を残した。大坂城はじめ多くの城が埋め立てさせられたことからすると残せたことは奇跡とも言われている。

明治時代になると藩時代の権威を象徴するような城跡は壊され、民間に払い下げられていった。高岡城も樹木の伐採業者まで決まっていたというが、当時の市長に当たる区長・服部嘉十郎(はっとりかじゅうろう)の尽力により、高岡古城公園として残されることになった。

今日、園内にはサクラ、ウメ、カエデ、ケヤキ、ヤブツバキなどが繁り、都市の真ん中いながら自然を楽しめる憩いの場となっている。「タカオカコシノヒガン」なる独自品種を有する桜の名所として知られているが、秋の紅葉も見応えがある。中でも刻々と色を変化させるモミジに目を奪われる。燃えるような赤色は、利常と嘉十郎の情熱の表れか。素晴らしい景色を残してくれた先人に感謝するばかりだ。

Photo & CG : Ryozo Takeyama



GEIBUN 013

富山大学芸術文化学部紀要 第13巻 平成31年2月

発行日	平成31年2月28日
発行者	国立大学法人 富山大学芸術文化学部 〒933-8588 富山県高岡市二上町180 TEL. 0766-25-9140（芸術文化学部総務課）
企画・編集	紀要委員会 島添貴美子（委員長）、 河原雅典（副委員長）、横山天心、ペルトネン純子、 桜井幸子（事務局）
デザイン	武山良三
印刷所	前田印刷株式会社 〒939-8212 富山県富山市掛尾町453 TEL. 076-407-1282

© The Faculty of Art and Design
University of Toyama

本書の全部または一部を無断で複写複製することは、著作権法上の例外を除き禁じられています。複写を希望される場合は、必ず発行者までご連絡ください。



Bulletin of the Faculty of Art and Design
University of Toyama



<http://www.tad.u-toyama.ac.jp>

ISSN 1881-6649